

平成27年度札幌市市政世論調査

調査結果のあらまし

調査実施の概要

- 調査対象者 無作為抽出法で選んだ札幌市全域の18歳以上の男女5,000人
- 調査方法 郵送法
- 調査期間 平成27年(2015年)11月17日(火)～12月1日(火)
- 回収数(率) 2,764件(55.3%)

毎年調査している項目 ※()内は前年度と比較した場合の増減

1 郷土意識

札幌への愛着度 (S48年度から調査)

1 札幌の街が好きか

「好き」・「どちらかといえば好き」……………94.0% (▲1.7)
69.4% 24.6% 36年連続して90%以上

「嫌い」・「どちらかといえば嫌い」……………2.1% (+0.5)
0.4% 1.7%

2 札幌が好き理由(2つまで回答) ※上位5項目

「地下鉄やJRなど公共交通機関が整備されているから」……………33.2% (+4.3)
「緑が多く自然が豊かだから」……………29.9% (▲3.5)
「四季の変化がはっきりしていて、季節感があるから」……………29.2% (▲0.1)
「官庁や学校、企業や商業施設、病院が集中していて便利だから」……………27.9% (+3.4)
「街並みが整然としていて美しく、わかりやすいから」……………21.9% (+1.5)

3 現在住んでいる地域にこれからも住みたいか (S43年度から調査)

「現在住んでいる地域にこれからも住みたい」……………73.8% (+0.3)
「札幌市内に住みたいが、現在住んでいる地域には住みたいとは思わない」……………12.5% (-0.3)

『札幌市内に住みたい』の合計……………86.3% (±0.0)

18年連続して80%以上

「札幌市内に住みたいとは思わない」……………2.7% (+0.1)

◆ 以下④は、③で「1 現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思う」と回答した方にお聞きしています。

④ 今後も住み続けたい理由（2 つまで回答） ※上位5項目

- 「買物や通院に便利だから」…………… 45.4%（+6.2）
- 「自分の家があるから」…………… 40.2%（-1.2）
- 「住み慣れているから」…………… 38.9%（+1.3）
- 「通勤や通学に便利だから」…………… 27.8%（-1.2）
- 「緑や自然の環境が良いから」…………… 23.2%（+1.3）

◆ 以下⑤は、③で「2 札幌市内に住み続けたいが、現在住んでいる地域には住み続けたいとは思わない」と回答した方にお聞きしています。

⑤ 今後も住み続けたいとは思わない理由（2 つまで回答） ※上位5項目

- 「通勤や通学に不便だから」…………… 29.7%（+3.9）
- 「買物や通院に不便だから」…………… 27.7%（-0.4）
- 「現在の住居が不満だから」…………… 25.1%（+3.2）
- 「住民のモラルが低く、迷惑を受けることがあるから」…………… 10.8%（-4.4）
- 「近所づきあいなど周囲の雰囲気良くないから」…………… 10.2%（+8.5）

2 市の施策・事業への評価と要望

市政に対する評価（今年度から調査方法を変更）

① よくやっていると思うもの（上位5位）

順位	今年度	
1位	ごみや資源回収のこと	26.2%
2位	公共交通の便利さを進める事業	11.8%
3位	公園や緑地など「みどり」の事業	11.6%
4位	除雪に関すること	8.8%
5位	住宅まちづくりに関すること	8.6%

市政に関する要望（今年度から調査方法を変更）

② 力を入れてほしいと思うもの（上位5位）

順位	今年度	
1位	除雪に関すること	55.1%
2位	犯罪のない安全で安心なまちづくり	42.9%
3位	高齢者福祉に関すること	36.8%
4位	産業や経済の振興、雇用の推進	36.3%
5位	地震・火災・水害などの防災対策	34.1%

3 生涯学習について

市民の皆さんが、様々な施設や機会を利用して学ぶことができるよう、また、学んだ成果を地域の活動に活かせるよう、さまざまな生涯学習の取り組みを行っております。そこで、市民の皆さんが日ごろ、生涯学習について、どのように考えているのかお聞きし今後の取組の参考とするために、このテーマで調査を実施しました。

1 生涯学習のイメージ（3つまで回答）※上位5項目	H27	H22
「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をすること」	48.4%	41.7%
「幼年期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」	44.4%	47.5%
「高齢期の生きがいをつくること」	43.0%	34.0%
「趣味・教養を高めること」	42.2%	45.7%
「健康を増進したり、体力づくりをしたりすること」	22.4%	14.5%

2 生涯学習への取り組み（複数回答）※上位5項目	H27	H22
「健康・スポーツに関すること（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」	30.9%	28.8%
「職業上必要な知識・技能の習得や、資格を取得すること」	17.3%	15.9%
「家庭生活に関する実用的なこと（料理、洋裁、編み物など）」	15.5%	11.3%
「芸術・工芸・芸能・音楽に関すること」	13.7%	12.2%
「外国語・歴史・文学などの教養を高めること」	10.2%	6.6%
「していない」	38.5%	42.1%

◆ 以下③～⑦は、②で何らかの取り組みを行っているとお聞きしています。

3 生涯学習の取組方法（複数回答）※上位5項目	H27	H22
「新聞・雑誌・専門書などの出版物」	56.6%	53.0%
「グループ・サークル・クラブなど」	33.2%	36.2%
「テレビ・ラジオなどの教育番組」	33.0%	26.7%
「民間カルチャーセンターなどの講座」	12.9%	10.1%
「企業・会社内の教育・訓練」	12.4%	13.3%

4 生涯学習の取組場所（2つまで回答）※上位5項目	H27	H22
「自宅」	61.6%	58.8%
「民間の施設（カルチャーセンター等）」	26.8%	26.8%
「公共施設」	25.9%	25.9%
「職場（企業・会社内含む）」	16.8%	16.8%
「学校（高校、大学などの公開講座）」	6.3%	6.3%

5 最も頻繁に利用した公共施設 ※上位5項目

「コミュニティ関連施設(区民センター、地区センター、コミュニティセンター、公民館、老人福祉センター、児童会館)」	40.5%
「体育館、温水プール、健康づくりセンターなどの健康づくりのための施設」	31.0%
「図書館」	19.5%
「芸術文化振興に関連する施設(教育文化会館、芸術の森美術館、Kitara など)」	6.6%
「その他専門的なテーマや世代別の取り組みを行う施設(生涯学習センター、青少年科学館、青少年山の家、円山動物園、市民活動サポートセンター、若者活動センター等)」	5.4%

6 生涯学習を行うおもな時間帯 ※上位5項目

「特に決まっていない」	32.7%
「平日(月～金曜日)の午前」	19.7%
「平日(月～金曜日)の午後」	17.0%
「平日(月～金曜日)の夜間(概ね午後6時以降)」	12.5%
「休日(土・日曜日)の午後」	8.1%

7 学習や活動に関する情報の入手先(複数回答) ※上位5項目

H27

H22

「新聞・雑誌・情報誌の記事や広告」	33.9%	42.9%
「知人や近所の人からの口コミ」	30.4%	33.1%
「『広報さっぽろ』など、公共機関の広報誌」	25.1%	22.3%
「ホームページ」	23.0%	26.3%
「テレビ・ラジオ」	17.5%	20.2%

8 学習や活動の目的(2つまで回答) ※上位5項目

「趣味や楽しみのため」	50.8%	47.4%
「生きがいや自己実現のため」	35.3%	35.2%
「知識や教養を高めるため」	35.1%	32.1%
「仕事や就職のため」	21.6%	22.3%
「友達や仲間づくりのため」	14.1%	16.7%

9 身につけた知識・技能や経験の活用(複数回答) ※上位5項目

「自分の人生がより豊かになっている」	44.6%	42.6%
「自分の健康の維持・増進に役立っている」	42.4%	40.5%
「家庭・日常の生活で生かしている」	42.1%	38.3%
「仕事や就職の上で生かしている」	29.8%	30.5%
「その知識・技能や経験を土台にして、さらに広く、深い知識・技能を身につけるよう努めている」	20.2%	20.4%

10 身に付けた知識・技能・経験の活用意向

「思う」	31.3%
「どちらかと言えば思う」	29.1%
「どちらかと言えば思わない」	17.3%
「思わない」	9.9%
「わからない」	7.9%

11 身に付けた知識・技能や経験を活かすに当たって困っている点（複数回答）※上位5項目

「生かすことが出来るまでの段階に到達していない」	44.4%
「身近で生かせる活動を見つけられない」	24.5%
「どのような活動に生かすことが出来るのかわからない」	16.2%
「知識・技能や経験を身につけたことを証明するものがない(社会的な評価を受けていないから)」	12.6%
「学んだ内容と求められる内容が一致していない」	9.4%
「特に困っている点はない」	24.4%

◆ 以下12は、3で「9 していない」と回答した方にお聞きしています。

12 学んだり活動したりしていない理由 ※上位5項目

H27 H22

「時間的に余裕がない」	41.7%	48.9%
「費用がかかる」	17.7%	19.6%
「興味がない」	15.9%	14.1%
「学習や活動に関する情報の不足」	5.1%	2.0%
「身近に学習や活動できる場が少ない」	4.1%	2.9%

13 今後、学習や活動したいこと（複数回答）※上位5項目

「健康・スポーツに関すること（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」	48.8%	48.3%
「芸術・工芸・芸能・音楽に関すること」	26.1%	25.2%
「家庭生活に関する実用的なこと（料理、洋裁、編み物など）」	25.8%	23.4%
「外国語・歴史・文学などの教養を高めること」	25.2%	19.5%
「職業上必要な知識・技能の習得や、資格を取得すること」	23.8%	23.7%

14 成果をどのような形で生かしたいか（複数回答）※上位5項目

「自分の人生をより豊かにしたい」	59.6%	59.3%
「日常生活に生かしたい」	51.4%	46.1%
「自分の健康維持、増進に役立てたい」	46.7%	47.2%
「仕事や就職に生かしたい」	31.1%	31.1%
「さらに深い知識や技術を身に付けたい」	25.5%	22.7%

15 現在の学習環境の満足度

「満足している」	55.4%	69.5%
「満足していない」	39.2%	25.9%

16 現在の学習環境に満足していない理由（2つまで回答） ※上位5項目 H27 H22

「学習や活動時間の不足」	35.4%	36.8%
「身近な地域に学習や活動できる場が少ない」	32.0%	25.4%
「費用がかかりすぎる」	31.4%	25.9%
「講座の時間帯が合わない」	14.5%	11.9%
「学習や活動に関する情報の不足」	14.3%	11.4%

17 今後、環境を整えるため必要なこと（複数回答）※上位5項目

「身近な場所での講座や活動機会の充実」	44.5%	47.7%
「生涯学習に関する情報提供の充実」	28.9%	31.6%
「受講しやすい時間帯の講座の充実」	28.7%	33.7%
「学んだ成果が地域の活動に生かされる環境づくり」	18.2%	20.0%
「インターネットによる学習環境の整備」	15.8%	14.7%

18 地域で活発になるため必要な施策（2つまで回答）※上位5項目

「地域で気軽に学びながら、多様な世代が集い交流を行う、地域のたまり場づくりの促進」	28.7%	30.4%
「地域の学習関連情報を収集し、わかりやすく提供する仕組みづくり」	25.5%	23.4%
「地域や日常生活に関する身近なテーマについて学べる講座・講演の実施」	21.1%	21.0%
「地域住民が集まって学習活動を行えるような身近な場（施設など）の整備」	19.1%	21.4%
「地域の中で学習支援を行う人材を育成し、必要とされるところにその人材を紹介する仕組みづくり」	13.5%	18.2%

19 どのような人材を育成すべきか（2つまで回答）※上位5項目

「地域活動、ボランティア活動および市民活動を継続的に支える人材」	28.8%	32.2%
「学習成果を生かしたい人とそれを求める人や場所とを結びつける人材」	25.8%	24.8%
「少子高齢社会の中で健康づくりや生きがいづくりを促進するリーダー」	23.4%	22.3%
「一人一人の学習ニーズに対応してアドバイスしたり、学習者同士の交流を促したりする学習支援者」	21.1%	19.1%
「学校、家庭、地域を互いにつなぎ、それぞれの学習活動を効果的に連携させる調整役」	15.4%	15.4%